

「令和6年度」

第7回 北信野球の日 小・中交流会 開催報告



交流会は北信地区の高校グラウンド12ヵ所で開催。交流会終了後の笑顔一杯の子ども達の集合写真です

北信地区野球協会は12月1日(日)に小学5、6年生対象の「小中交流会」を小学生388人、中学生440人、合計828人の参加のもと、北信地区高校グラウンド12会場で盛大に実施しました(飯水地区のみ11月16日に実施)。

小学生が近隣少年野球チームの児童や中学生と交流したり、試合や硬式球での体験を行ったりする中で、「中学校でも野球をしたい!」という意欲を高める目的で交流会を実施しました。

交流会では、他の少年野球チームの児童や中学生とチームを組んで活動を行いました。はじめはお互いにかたさが見られましたが、徐々に打ち解け、試合中の応援やハイタッチ、そしてたくさんの笑顔が見られました。

参加した児童からは「先輩たちが優しく接してくれて、嬉しかった。早く先輩たちと一緒に活動したい」といった声が聞かれました。また観戦していた保護者の方からは「普段は同じチームのため真剣勝負をすることがない友達と対戦しており、とても楽しかった」、「いつもとは違うポジションをやっている」、「子どもが所属している少年野球チームは高学年が少ない。今日のように高学年のたくさんの仲間とレベルの高い試合ができて楽しそうだ。とても貴重な機会でありがたい」といった声が寄せられました。



他の少年野球チームの児童や中学生とチームを組んで試合も行いました



チームメイトとなった仲間とハイタッチ



素晴らしいバッティングフォーム

また硬式球体験では、普段よりも大きく重いボールやバットを使い、バッティング練習や守備練習を行いました。「打った時のカキンという音が良く、とても楽しかった」、「芯を外すと、手がしびれて痛い…」。実際にやってみることで、硬式球で野球をすることの面白さや難しさを感じることができました。



青空の下でのバッティング練習



高校の室内練習場をお借りしてマシンバッティン

終わりの会では参加した中学生チームがパフォーマンスや実技を披露し、それぞれのチームをPRすると共に、会場を盛り上げました。(※下記の2枚の写真です)

天候にも恵まれ、新たな仲間との出会い、そしてその仲間と野球をすることの楽しさを感じられたと思います。小学生の皆さんには今回の交流会だけでなく、中学生チームの体験会などにも積極的に参加し、中学校でも野球を続けてもらえればと思います。

